

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公表番号】特表2019-535813(P2019-535813A)

【公表日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-050

【出願番号】特願2019-544789(P2019-544789)

【国際特許分類】

C 07 D 401/06	(2006.01)
A 61 K 31/496	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 17/00	(2006.01)
A 61 P 17/02	(2006.01)
A 61 P 17/04	(2006.01)
A 61 P 17/06	(2006.01)
A 61 P 17/08	(2006.01)
A 61 P 17/10	(2006.01)

【F I】

C 07 D 401/06	C S P
A 61 K 31/496	
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 P 17/00	
A 61 P 17/02	
A 61 P 17/04	
A 61 P 17/06	
A 61 P 17/08	
A 61 P 17/10	

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

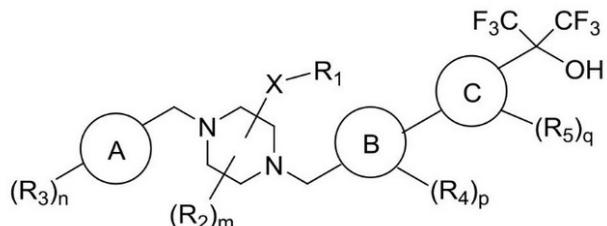
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の構造を有する化合物、或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物であつて、

【化1】



式(I);

式中：

【化2】

A

は、フェニル、或いは5員又は6員のヘテロアリール環であり；

【化3】

B

は、フェニル、或いは5員又は6員のヘテロアリール環であり；

【化4】

C

は、フェニル、或いは5員又は6員のヘテロアリール環であり；

Xは単結合、C₁-C₆アルキル、又はC₁-C₆ヘテロアルキルであり；R₁は、-C(=O)OR₆又は-C(=O)N(R₆)₂であり；各R₂は独立してハロゲン、C₁-C₆アルキル、又はC₁-C₆アルコキシであり；各R₃、各R₄、及び各R₅はそれぞれ独立して、ハロゲン、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロアルキル、C₁-C₆アルコキシ、C₁-C₆ヘテロアルキル、-OR₇、-N(R₇)₂、-CN、-C(=O)R₈、-C(=O)OR₇、-C(=O)N(R₇)₂、-NR₇C(=O)R₈、-NR₇SO₂R₈、-SO₂R₈、又は-SO₂N(R₇)₂であり；各R₆は独立して水素、C₁-C₆アルキル、又は-C₁-C₆アルキル-Y-R₉であり；各Yは独立して、-O-、-S-、又は-N(R₁₀)₂であり、各R₇は独立して、水素、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロアルキル、又はC₁-C₆ヘテロアルキルであり；各R₈は独立して、C₁-C₆アルキル又はC₁-C₆ヘテロアルキルであり；各R₉は独立して水素又はC₁-C₆アルキルであり；各R₁₀は独立して水素又はC₁-C₆アルキルであり；

mは0、1、2、3、又は4であり；

nは0、1、2、3、又は4であり；

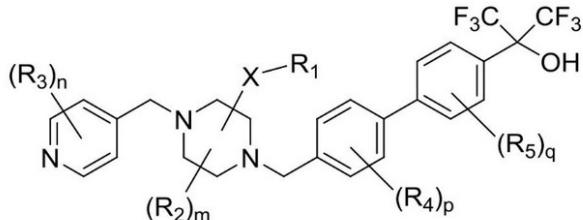
pは0、1、2、3、又は4であり；及び

qは0、1、2、又は3である、化合物。

【請求項2】

式(Ia)の構造を有する、請求項1に記載の化合物：

【化5】

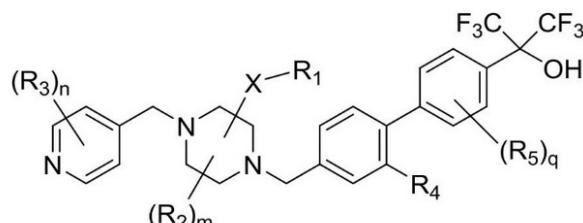


式(Ia).

【請求項3】

式(Ib)の構造、或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物を有しており、

【化6】



式(Ib);

式中:

Xは単結合、C₁-C₆アルキル、又はC₁-C₆ヘテロアルキルであり；R₁は、-C(=O)OR₆又は-C(=O)N(R₆)₂であり；各R₂は独立してハロゲン、C₁-C₆アルキル、又はC₁-C₆アルコキシであり；各R₃は独立して、ハロゲン、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロアルキル、C₁-C₆アルコキシ、C₁-C₆ヘテロアルキル、-OR₇、-N(R₇)₂、-CN、-C(=O)R₈、-C(=O)OR₇、-C(=O)N(R₇)₂、-NR₇C(=O)R₈、-NR₇SO₂R₈、-SO₂R₈、又は-SO₂N(R₇)₂であり；R₄は水素またはC₁-C₆アルキルであり；各R₅は独立して、ハロゲン、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロアルキル、C₁-C₆アルコキシ、C₁-C₆ヘテロアルキル、-OR₇、-N(R₇)₂、-CN、-C(=O)R₈、-C(=O)OR₇、-C(=O)N(R₇)₂、-NR₇C(=O)R₈、-NR₇SO₂R₈、-SO₂R₈、又は-SO₂N(R₇)₂であり；各R₆は独立して水素、C₁-C₆アルキル、又は-C₁-C₆アルキル-Y-R₉であり；各Yは独立して、-O-、-S-、又は-N(R₁₀)-であり；各R₇は独立して、水素、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロアルキル、又はC₁-C₆ヘテロアルキルであり；各R₈は独立して、C₁-C₆アルキル又はC₁-C₆ヘテロアルキルであり；各R₉は独立して水素又はC₁-C₆アルキルであり；各R₁₀は独立して水素又はC₁-C₆アルキルであり；mは0、1、2、3、又は4であり；nは0、1、2、3、又は4であり；及びqは0、1、2、又は3である、請求項2に記載の化合物。

【請求項4】

R₁は-C(=O)OR₆である、請求項3に記載の化合物。

【請求項5】

R₆はC₁-C₆アルキルである、請求項4に記載の化合物。

【請求項6】

R₁ は - C (= O) O C H₃、 - C (= O) O C H₂ C H₃、 又は - C (= O) O C H (C H₃)₂ である、 請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 7】

X は単結合である、 請求項 3 乃至 6 の何れか 1 つに記載の化合物。

【請求項 8】

X は C₁ - C₆ アルキルである、 請求項 3 乃至 6 の何れか 1 つに記載の化合物。

【請求項 9】

m は 0 であり、 n は 0 であり、 q は 0 である、 請求項 3 乃至 8 の何れか 1 つに記載の化合物 0。

【請求項 10】

R₄ は水素である、 請求項 3 乃至 9 の何れか 1 つに記載の化合物。

【請求項 11】

R₄ は C₁ - C₆ アルキルである、 請求項 3 乃至 9 の何れか 1 つに記載の化合物。

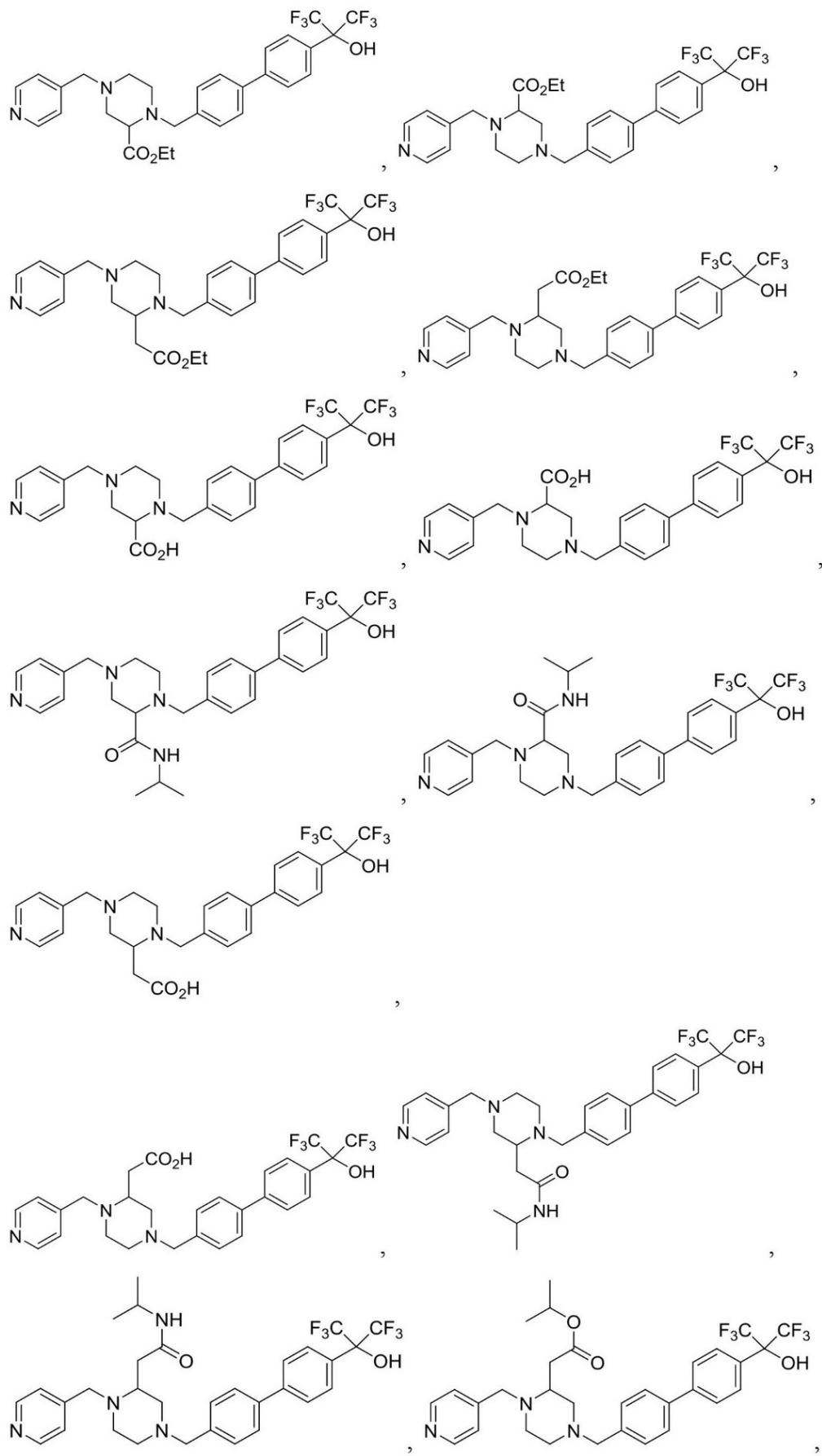
【請求項 12】

R₄ は - C H₃ である、 請求項 3 乃至 9 の何れか 1 つに記載の化合物。

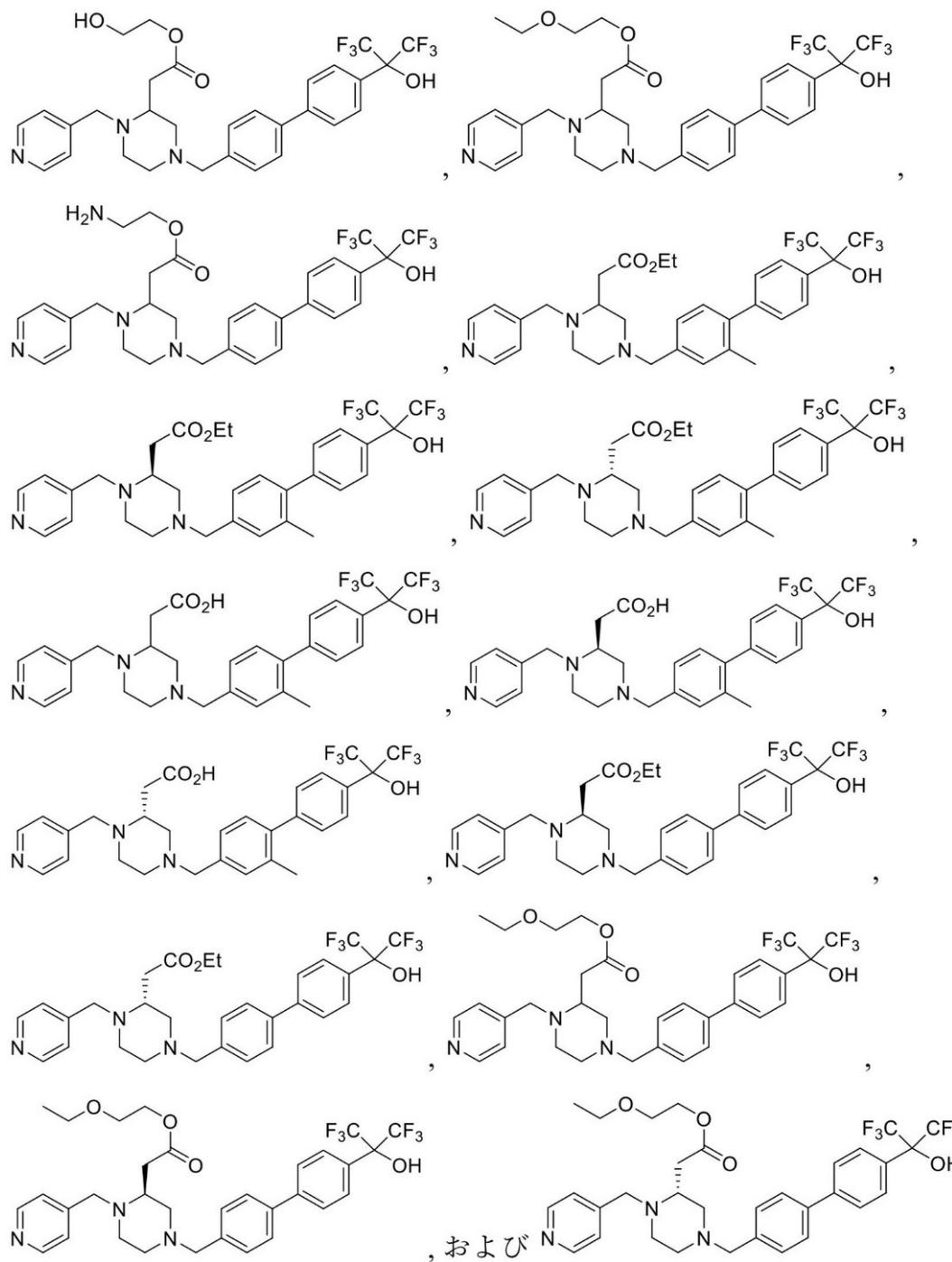
【請求項 13】

以下から選択される、 請求項 1 に記載の化合物、 或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物：

【化 7 - 1】



【化 7 - 2】



【請求項 1 4】

薬学的に許容可能な希釈剤、賦形剤、又は結合剤、及び、請求項1乃至13の何れか1つに記載の化合物或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物を含む、医薬組成物。

【請求項15】

皮膚老化、瘢痕化、乾癬、皮膚炎、湿疹、蕁麻疹、酒さ、熱傷、及びざ瘡から成る群から選択される、皮膚の疾患、障害、又は疾病の処置に使用される、請求項14に記載の医薬組成物。